

令和４年度 西砂学習館運営協議会（令和４年５月）会議録

日 時：令和４年５月１７日（火）午後６時００分～午後９時１０分 （敬称略）

出 席：大槌 加藤 広瀬 浅見 小笠原 長谷川 岩元 小林 森 増田

傍 聴：１名

事務局：石川 田中 俣本

説 明：檜崎

１ 開会のあいさつ

大槌：本日の会議ではこれから１年間の活動、特にサマーイベントの内容を決めたい。

石川：次第４協議報告事項（３）「平和都市宣言３０年企画」について。パネル展、講演会を各館とアイム、本庁で開催する。企画は柴崎学習館運営協議会が中心。次第２について、柴崎学習館運営協議会の檜崎会長から説明がある。

２ 平和宣言３０周年企画について

檜崎：柴崎学習館運営協議会の企画。令和４年２月１９日に予定していた交流会が中止になり、５月１０日に実施した平和都市宣言３０周年会議で各運営協議会の皆様に提案をした。そこで賛同を頂いたので今後は各地運協の協力の元、進めていきたい。資料「平和宣言３０周年企画」参照。この地域も空襲があった。この地域に特化したパネルを作って頂きたい。西砂学習館の展示期間は７月１６日から７月２４日。パネルの設置や撤去でも手伝って頂けるとありがたい。

増田：唐突な話なので、どのような経緯かわからない。

檜崎：去年１１月の懇談会で、柴崎学習館運営協議会から平和宣言３０周年なので各地運協で協力してほしいとお伝えした。それから２月の交流会で説明をする予定だったが中止になった為、このような連絡になった。

大槌：５月１０日の会議に出席して驚いている部分もある。事務局が用意したパネルや資料の展示は納得できるが、戦争体験者を探して取材して、この地域に特化した資料を西砂学習館の地運協で作るのは時間の都合で難しいのではないかな。期間が短いのでどうなるかわからないが、地域に沿った資料の展示ができればより子ども達には伝わるとは思う。

岩元：平和都市宣言を地域にアピールできることは素晴らしい。

檜崎：巡回展示しているとその地域の方が来るかと思う。

小笠原：展示、ビデオ上映のターゲットはどこか。子どもに特化するなら内容や宣伝を考えていかないとと思う。

檜崎：ターゲットは特に子どもに限定はしていないが、子どもも分かる内容を含めたい。

小笠原：小学生は７月２０日まで給食がある。２２日終業式の学校がある。学校が終わってか

ら来るとあまり見る時間がないという危惧はある。

加藤：設置撤去の時間について。

檜崎：設置も撤去も15時から行う予定。

加藤：西砂は7月24日まで展示で、7月26日からサマーイベントがある。7月26日の午前中にパネルがあれば、サマーイベントに来ている子ども達が見ることができるかと思った。

広瀬：この地域は結構空襲でやられている。横田基地もありしっかりやったほうが良いと思う。できるだけ協力したい。

大橋：空襲があった場所が分かるこの地域の航空地図は緊迫感がある資料。

石川：柴崎学習館係長から係長会儀で提案があった。記念行事なので各学習館で展示をして欲しいという事だったので了承をした。簡単にパネル展示と考えていたが話が大きくなり、ビデオ上映や講演会の話が追加された。

3 令和4年度地域活性化講座について

(1)「西砂サマーイベント～火曜日は学習館に行こう！」について（再検討）

※ 現在の予算では、開催は5回まで！

【前回 確認事項・意見】

- 岩間さん、片江さんへの依頼はOK。
- 学校で出来ないことや、普段できないことをやって見てはどうか。
- 珍しい楽器。
- 学年がバラバラ、参加して良かったまた来たい。楽しく遊べる。
⇒「〇年生向きです」と募集時に伝えて、参加は1～6年生でOK。
- 西砂学習館で活動のサークル（南京玉すだれ・和太鼓・書道）の体験。
- シンコースポーツ（泉体育館の指定管理）にお願いする。
- 草笛（市民リーダー）の体験。
- 午前の企画と午後の企画を入れ替えて見ては。
- グループワーク的な話し合いをしても面白いのでは。
- 素晴らしいプログラムより、皆で楽しく過ごせるプログラムを。
- 申し込みは一日通しではなく、①一日、②午前中、③午後の3通りで。

※ 次回はカードを駆使して内容を検討する。

§ 5月に決めないと間に合いません。

石川：昼食の提供について。2年間昼食の提供を中止していたが、各館の係長とセンター長に確認をしたところ、コロナの感染防止対策ができるなら昼食の提供を行っても良いとのことだった。部屋は視聴覚室や第1実習室、テラスを使い、基本的には黙食。場合によってはパーテーションを使う。昼食の食材費は12,000円を確保している。午後の

講座やイベントでは 24,000 円の予算を確保できた。パン作りが人気なので、良ければ同じ内容で 2 回開催しても良い。予算無しで開催可能なのは、児童館の工作、田中の工作、バルーンアートやゲーム大会。24,000 円の予算は音楽や体育の講師を呼んでも良い。

小笠原：パン作りの会にオファーはしているか。

石川：以前にお話はしているが、毎年代表が変わっている。

小笠原：7 月 21 日と 8 月 25 日にお願いできたら良いと思った。

石川：新しい代表の方に確認をする。岩間さんと片江さんからは良いとご連絡を頂いている。

小笠原：料理が可能なら、お昼ご飯を作る料理講座を小林委員にお願いしてはどうか。内容は簡単なものが良い。

長谷川：自分で作るのでもより安心する。

岩元：1 年生から 6 年生の幅は問題にはならないか。

小笠原：ハードルを下げて危険が少ない調理を皆でやるのはどうか。

小林：お団子作りも楽しい。

広瀬：パン作りは、評判が良くても 2 回もやることはないのではないか。この 6 日間も絶対 6 日間でなくても良いのでは。

大槁：サマーイベントは 1 日でも多く夏休み子ども達の居場所を増やしていくことを考えているので、日数を減らすことは考えていない。こんな講座をやってもらいたい、やりたいという案を出して頂きたい。南京玉すだれ、和太鼓、書道、体操、草笛、音楽など意見があった。当日の流れは、午前と午後に約 2 時間の講座があり、昼食の提供があり、午後の学習支援のパターンになる。

森：食事は作ったものは食べて良いのか。最初と最後は同じにするのか。

大槁：食事は作ったものは食べて良い。最初と最後は必ずしも同じにする必要はない。

意見収集

大槁：たくさんアイデアがでた。熱量で決めたい。「モルック」は炎天下での実施は難しいのではと意見があった。

石川：7/26 と 8/30 は田中の工作教室で、大根田さんにもお声がけする。

小笠原：児童館の工作は 8/16 は対応可能。

大槁：児童館の工作は子ども達に人気。これから交渉に入り、日程を決める。

【委員より出された講座等】

	7月26日	8月2日	8月9日	8月16日	8月23日	8月30日
午前	昨年実施「どんぐり人形作	片江さんの講座	岩間さんの講座	初めての料理	パン作り	工作
		科学・化学のふしぎ	数楽のふしぎ	マサさんのお料理教室		
	工 作	化学実験系		無駄のない食材活用法		工 作
				自分で作る料理		
				マサさんの簡単お料理教		
午後	コントラバス演奏会	体験教室のようなもの	子ども向け戦争体験の話	児童館工作	フォークダンス	グループワーク
					囲碁・将棋	グループで話し合う
					和太鼓・神楽	モルック
					手話	手品
					認知症サポーター	子どもの防災教室(非常

(2) 「西砂の産業を知ろう」

- ・4/15(金) 午後 6 時頃、天王橋会館で工業会の役員会で、「西砂の産業を知ろう」実施の趣旨説明と協力依頼

出席：大橋会長、岩元委員、石川

石川：4 月 15 日の役員会では、事業概要の説明と協力依頼をした。岩元委員から説明して頂き了解を頂けた。

大橋：第一歩を踏み出せた。思いはお伝えしてきた。

(3) 開催時期の確認等

石川：にしすな親子塾について。小笠原委員から中高生向けになるが、思春期の子ども達に性の知識や命の大切さを学ぶ企画の提案があった。

大橋：1 つは読み聞かせが決まっている。性、命の大切さは新聞でも強く書かれている。親子塾としては大切な内容かと思う。

小笠原：児童館の日曜日の部屋貸しが可能とわかった。夏休み以外であれば、日曜日の開催は可能。

岩元：中高生向けか。

小笠原：親子で本当は聞いてほしい。小学生からを対象にしている。繊細な問題なので、あえて親子塾で取り入れるべきか悩むところではある。講師は助産師の方を漠然と考えていた。

森：中高生がメインなら開催時期は中間テストや期末テスト、大きな行事は考慮が大事。

小笠原：児童館での開催は、11 月は事業があり難しい。10 月は 10 月 16 日松中小運動会と 10 月 30 日以外なら日曜日の昼間開催で考えられる。2 月の日曜日は全て開催可能。

大橋：認知症予防講座は 10 月か 11 月、西砂川の災害を考えるは 11 月頃の開催予定とする。

岩元：「地元を学ぼう」の豊泉先生からは早くやりたいと話があった。

大槁：西の方面はまだ行っていない。

広瀬：3回講座の1回目は立川の歴史をしたい。同じ内容の繰り返しになるが、新しい住民がたくさんいる。勤め人が多いので夜の開催になるか。

岩元：豊泉先生が語り残したいことや伝えたいことをお願いするのはどうか。

広瀬：3回講座の内1回をそうするのではどうか。

加藤：戦災の話もしたいと話していた。

大槁：初回を座学、あとの2回を歩くか。

森：歩く前に、ある程度話を伺ってから行くのが良いと話があった。コースについての話を座学で盛り込まないともったいない。

大槁：イヤホンがあるので、歩いている時の講師の話しが全て分かるようになった。できれば事前に座学で聞いていければ良い。

森：事前にコースの資料だけでも、一読してからいきたい。

広瀬：最初から距離は歩かないでゆっくりいきたい。

石川：日程は、1回目の座学は8月くらいに開催。歩くのは涼しくなってから。講師に確認して決めていく。

大槁：産業まつりは情報があれば、できるだけ参加して情報収集も良い。

4 協議、報告及び連絡事項

(1) 前回の議事内容の確認（議事録）

大槁：何かあれば事務局まで。

(2) 地域学校コーディネーターとの連携について

石川：7月開催で調整中。コーディネーターにメールで確認しているところ。

(3) 平和都市宣言 30 年企画について

- ・パネル展示 7月16日（土）～7月24日（日）

- ・講演会 7月16日（土）午後～

テーマ：立川市民の戦争 弁士：檜崎 茂彌

- ・企画運営 柴崎学習館運営協議会・柴崎学習館

(4) フリースペースについて（協議）

大槁：次回以降に協議する。

(5) 会議録の形態について再考

石川：西砂学習館の会議録は非常に詳しく出ている。他館では発言者の名前が伏せられている会議録もある。

広瀬：個人的には自分の意見がよく分かり、自分の反省になる。名前はアルファベットでも

良いが、全部載っている方が魅力ある。会議の様子がよく分かる。

岩元：同じ意見。名前があったほうが良い。公表して頂いても構わない。

大槇：議事録があるとその会に参加できなくても、より鮮明に分かる。情報をもらう側としてはありがたい。名前を出すか出さないかはどうするか。

小笠原：フォーマットはないのか。各館で全然違う。幸は名前が議事録では載っているが概要だと載っていない。

石川：フォーマットは無い。

増田：誰が何を話したのかが大事。

大槇：改めて検討をする。

(6) 各委員から報告及び連絡事項（報告）

加藤：市民交流クッキングは9月に行う。

広瀬：各団体やサークルでコロナの関係で人が減ってきている。若い人もなかなか入らない。真剣に取り組んでいる団体は伸びているが、まあいいかという団体は衰退している。

浅見：6月18日「ペットと飼い主のための防災講座」を2年ぶりに対面で開催予定。会場は西砂学習館。

小笠原：こどもの日のイベントが無事に終了し、夏祭りの準備に取り掛かっている。NPO法人ワーカーズコープの契約が今年度を最後に一旦終わるので、更新に向けての準備をしている。

長谷川：青少健では懇親会は無いが総会を行う。6月1日麦刈りを予定。6月30日青少建地区委員会を予定。今年度の松明祭りはせめて松明回しだけでもやりたいと話がでている。松明祭りは8月20日土曜日に西砂小で開催予定。

岩元：文化会の総会は書面評決を行った。5月21日に集計をする。5月8日に予定していたお茶摘み体験は中止。秋の文化祭はなんとかできたらとコロナの感染状況を注視している。コーラス槐も高齢化で講師のお引越しもあり、歴史ある団体だが解散の話も出ている。

小林：フリースペースはお休み中。委員の更新は年齢のこともあり悩んでいる。

森：西砂パソコンクラブでは、高齢の方の参加もありありがたい。Wi-Fiが西砂学習館に設置されたのでそれに向けて、セキュリティについての講座をしたいと考えている。今後ワード講座を予定。テキストの内容を考えるのは大変だが充実している。

増田：財政を考える会。防火水槽確保の陳情は継続審議中。新しい防災課長に改めてお話をした。やってきたことが次の世代に繋がるように頑張っていく。地運協の活動もできるところまでさせて頂けたらありがたい。

俣本：学習館祭りが5月27日から5月29日にある。良かったら見学にお越しください。

石川：会長が学習館まつり用の展示物を用意してくれた。第2実習室に展示する。フラワーサークル桜と同じ部屋。お花を長持ちさせる為に部屋を暗くして寒くする。寒い中での展示になる。視聴覚室と会議室の空調が壊れたが、修理し本日完成した。

田中：こちらに戻ってきたので、サマーイベントの工作で子ども達に楽しんでもらえるように一生懸命やりたい。

加藤：W i - F i の進捗状況を知りたい。

石川：第 2 実習室以外は全部入る。市民が使える仕組み作りをしているところ。

5 その他

○ 次回の地域学習館運営協議会の日程について

※ 次回開催；次回は、 6 月 28 日（火）